

2020年7月フォーラム:リカレント委員会&勉強会:実施報告:(R委員会NEWS第2号)

WITH コロナの社会人基礎力とリカレント教育～大学・企業のオンライン化～

■2020 フォーラム(7月リカレント委員会&勉強会)を開催致しました。(ご報告)

- 1) 日時:2020年7月25日(土)10時～12時/参加者:14名(企業8・大学4・協議会2)/ZOOM会議方式
- 2) 進行概要(司会:渡邊副委員長):①開講の辞 ②参加者自己紹介(経歴と活躍の場所/参加理由と目的等)
- 3) リカレント委員会2020年事業計画と課題・目標/勉強会テーマ提示の背景と狙い(芝原委員長)
- 4) 今回テーマ:「オンライン授業・研修&企業のリモート活用の現状」(オンラインのメリット・デメリットを語る)
- 5) 情報提供:「メリット・デメリットの分析」(渡邊)/事例紹介:(市川先生:諏訪東京理大/山崎先生:成蹊大)
- 6) 参加者コメントと「ブレイクアウトセッション」(1組:芝原/2組:市川・山崎/3組渡邊)<約30分>
- 7) 各組代表報告&全員意見交換…全員がリモート環境にあり立場に応じてその適応に工夫し次に備えている。
- 8) 総括&閉会の辞(芝原):日経HR「WEB診断」紹介/(渡邊)次回8月度(8/22)開催予告&参加御礼

一般社団法人 社会人基礎力協議会

2020年度7月フォーラム:「リカレント委員会&勉強会」 ～コロナ時代の社会人基礎力とリカレント教育～

■2020年度リカレント委員会「事業計画(目標と課題)」

～産学公連携の推進と事業展開による「社会人基礎力の普及と啓発」～

- ・1、シニア世代のリカレント教育研究…生涯現役推進プログラムと企業支援
- ・2、中小企業&地域商工会議所との連携事業…人材教育と人材流動化施策
- ・3、女子大生&女性活躍推進のリカレント教育「女性人材育成戦略」展開
- ・4、大学向け「社会人基礎力」普及…GP参加大学拡大(地区別説明会開催)

- ・5、「社会人基礎力とリカレント教育」ハンドブック作成&刊行
- ・6、今日的課題の取組み:社会・企業からの発信とアウトプット
- ・7、日経HR開発・協議会監修「社会人基礎力WEB診断」サービス開始と拡大
- ・8、「VUCA時代」(フーカ/変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)を生き抜く「WITHコロナ」の社会人基礎力について…等。

- ・■フォーラム:委員会&勉強会(今回は8/22<土>開催予定)

■委員長挨拶:「2020 事業計画と目標・課題」

- 社会人基礎力の普及・啓発に一層尽力する。
- 特に2020型「VUCA」時代となったコロナ禍での「3つの能力・12の能力要素」を深掘りする。
- 「振り返りと気づき」のリカレント教育もWITHコロナでは「社会と自分との関係性」や「与件の中で主体的に戦う姿」が問われ、動的行動的能力(発揮能力)が求められている。
- 大学・企業で常態化したリモート環境では当事者意識を持った「結果を出せる人材」の育成が肝要である。
- 正にいま「社会人基礎力」の出番を実感します。

■「ブレイクアウトセッション」概要:テーマ設定:大学・企業活動におけるオンライン化」について委員会(渡邊)からPPTにて提起説明。●まずオンラインのメリット・デメリットを5つの視点(品質・コスト・時間・ガバナンス・セキュリティ)から意見交換実施。●品質・環境整備のコスト、講師の準備時間、学生の受講状況・不正行為・情報漏洩や成績評価の問題等、参加者の現状と対応実績を共有化した。特に企業ではテレワークが普及し、営業のオンライン化・社内会議の変化・オフィスの変化や働き方の変化が現実化している。●大学のオンライン授業では、教員の技量と向き不向きが見え、学生の厳しい評価や不公平感も出ており、秋学期からの態勢立て直しが指摘された。●講師の問題は企業も同様、スタッフの負担が大きく技術研修の需要が拡大してきた。●共通の話題は「最適ツールは?」「好評事例の紹介」「コミュニケーション欠落の対策」等があった。注目は「オンライン化によるストレスとメンタルヘルス」である。●(特記)社会人留学等多様な経歴の参加者の「欧米のリカレント教育」紹介を興味深く拝聴。皆様の活発なご参加に感謝致します。。